

日 時：平成 29 年 5 月 10 日 (水) 13:00~15:20		会 場：地盤工学会 3 階会議室	
理 事 会 員・支部部長 田 中 耕太郎 ○			
理 事 廣 岡 明 彦 (会員・支部担当)	○ Web	理 事 田 中 真 弓 (男女共同参画・ダイバーシティ(委)委員長)	○
部 員 石 川 敬 祐 (継続教育システム委員会委員長)	○	部 員 須 賀 幸 一 (支部活動情報の収集配信 WG リーダー)	×
部 員 石 井 裕 泰 (学会 BCP 検討 WG リーダー)	○	部 員 遠 藤 一 郎 (支部活動情報の収集配信 WG サブリーダー)	○
部 員 小 田 部 雄 二 (技術普及委員会委員長)	○	部 員 渡 邊 康 司 (前・技術普及委員会委員長)	×
事 務 局：伊佐治○		部 員 原 田 克 之 (会員データベース管理システム改善 WG サブリーダー)	○
		理 事・副会長 古 屋 弘	○

○:出席 ×:欠席 △:未定

◎本日の議事録作成担当者 (田中)

議 題：

1. 前回議事録の確認 (2016 年 3 月 9 日開催)

資料-1 pp.1~

異論なし。

2. 理事会報告 (2016 年 3 月, 4 月開催)

資料-2 pp. ~

概要を説明。次期理事会体制 (案) 及び地盤工学研究発表会の支部還付金の理事会での議論について補足説明。

6 月 9 日の総会後は、廣岡新部長体制となる。また、田中真弓理事は、男女共同参画・ダイバーシティ(委)委員として引き続き部会に参加する。

3. 理事会からの検討依頼

1) 震災における会費減免制度について

資料-3, 別添 pp. ~

内規文面に関し、以下の意見が出され、これらを踏まえて部長が文面を修正し、理事会に上げることが了承された。

- 『個人会員』という呼称は学会では用いておらず、学会規則の用語に統一すること
- 第 2 条 (1) と (3) は類似の内容であり、一つに纏めたほうが良い。
- 第 2 条 (5) の『会員本人または』は不要である。

なお、今回は新規設定であり理事会において本内規の承認を受け、以降は第 9 条の規定に従い当部で必要に応じ変更することを確認した。

2) 会員増加策について

資料-4 pp. ~

廣岡理事より、九州支部でのシニア部会の活動の紹介があり、1 章に追記することとした。

石川委員長より、電気学会での事例紹介 (CPD を企業の人事評価に活用する動きがある) があった。これを 2 章に追記することとした。

3) WG の再編について

資料-5 pp. ~

特段の異論はなく、具体的な活動方針 (内容、メンバー構成等) は総会後の新体制で協議をすることとした。

4. 所管委員会関連

1) 地盤品質判定士

資料-6 p.

廣岡理事より、判定士試験の案内にメーリングリストを活用したらどうか、特に受験者数の多寡で試験会場の設置の有無が分かる九州・東北支部には有効ではないか、との意見が出された。協議会サイドで検討することとした。

2) 技術普及委員会

- ・平成 29 年度講習会企画の進捗状況報告

資料-7 p.

活動状況、今年度の企画の進捗について報告がなされた。異論なし。

- ・オンデマンド講習会の割引キャンペーンの実施について

資料-8 p.

実施について了承された。

以下、講習会のあり方等について以下の意見が出された。技術普及委員会で検討することとした。

- 廣岡理事より、例えば、DVDの内容を紹介するために概要だけでも、あるいは、前半の少しだけでも（広報委員会で取り組んでいる）FB等で視聴できるようにすれば、普及の一助になるのではないかと。
- 石井委員より、更なるオンデマンド講習会の利用促進のためにも、“誰がどのような受講方法、受講目的”で利用しているか、調査・分析を行うべきではないかと。
- 古屋副会長より、ワンタイムパスワードを利用してダウンロードで利用する方法を考えるべきではないかと。また、電子図書館との連携も有効ではないかと。
- 田中部長より、YouTubeを使えば定番でない単発の講習会でも活用できるのではないかと。

・平成29年度の構成

資料－9 p.

了承された。今年度は大学関係者の退任が多い。委員会業務の性格上、大学教官の支援が重要であり、将来的には大学教官への委員就任等を配慮すべきであることが確認された。

・関連団体（COPITA）との協力体制と講師選出

資料－10 p.

委員構成、COPITA 講演会講師として桑原先生に依頼することが了承された。講師選定結果・依頼は総務部に確認のうえ、小田部委員長が行うこととした。

- 3) 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会 特になし。
- 4) 継続教育システム委員会

・平成29年度の構成

資料－11 p.

委員として原田部員が新任された。

5) その他

・平成28年度「本部・支部連絡協議会」の開催

資料－有

- 「支部の運営状況の報告」は、事務局で確認し、担当支部候補を抽出する。
- 「本部支部間の意見交換」は、議題候補として、①ダイバーシティ委員会からメンター制について、②中長期ビジョンについての意見聴取、が挙げられた。
- 事務局・伊佐治氏より、会議資料は事前に送付し、QAの時間を長くとってはどうかという意見があった。

5. 会員処理

1) 請求書関係

- ・平成29年度第2回【コンビニ収納】会費請求：2017年4月20日付発送【1,908件】
- ・職場班請求明細の送付：2017年5月発送予定
- ・平成29年度第1回【口座引落】：2017年6月2日データ送付

業務状況の報告がされた。次回以降の部会においても、適宜、事務処理状況の報告を行い、適正業務の遂行を確認することとした。

2) 「ダイバーシティ促進のための会費減免」利用の条件他について

当日配布資料

理事会上申について基本的な考えは了承された。ただし、以下の意見があった。

- 【提案－2】の「また、事務の煩雑さを回避するために」は削除し、逆に、紙媒体を希望する会員に対しては回避減免措置の非対象とする旨を記載すべきである。
- 【提案－3】の移行された場合の対象会員や会費全額免除の会員と、学会本部との接点が更に細くなる懸念される。
- 会員との接点、例えば死亡された会員の確認等の方法を検討する必要がある。年に一度、会員データベースを活用して変更有無を確認することができないか、等の意見もあり、今後検討を進めるものとする。

3) 学生会員の所属入力促進について

参考資料－1, 5 p.

HPの一部修正箇所が説明され了承された。

学生会員へのアンケート結果が説明されたが、その内容以前に回答率が19%と非常に低い。今後の対策が課題であることが部員間で共有された。

4) 会員情報更新案内の継続について

参考資料－4, 7 p.

正会員（個人）についても、会員情報更新の割合が低く、会員属性（業種、分野等）の実態把握が十分でない実情が部員間で共有された。

5) 会員の委員会参加における会員資格の再確認（特別会員所属個人の取扱い）

特別会員所属の個人についても、『招請委員』と呼称することが確認された。

6) 会員の特典について

参考資料-2 p.

6. 新入会, ダイバーシティ制度申請, 熊本地震被災による会費減免申請

- 1) 5月入会申請
- 2) 5月会費減免申請
- 3) プレミア会員申請

資料-12 pp.~

資料-13 p.

いずれも理事会への上申は承認された。

ただし、会員総数が前年同期時 - 113名 となっている。由々しき事態であり、まず退会者の分析を行うこととした。部長は事務局と連携して、理事会までに可能な範囲で退会者の分析（除籍者の割合、退会者の属性等）を行うこととした。

7. その他

8. 次回以降の部会等開催日程

平成29年度第1回：平成29年 7月 日（ ）

◎ 平成28年度 理事会 開催日程（予定含む）

- ① 4月20日（水） ※書面審議
- ② 5月17日（火）
- ★ 6月8日（水） 総会/理事会
- ③ 6月15日（水） ※書面審議

-
- ④ 7月28日（木）
 - ⑤ 9月29日（木）
 - ⑥ 10月28日（金） ※書面審議
 - ⑦ 11月25日（金）
 - ⑧ 12月22日（木） ※書面審議
 - ⑨ 1月27日（金）
 - ⑩ 2月24日（金） ※書面審議
 - ⑪ 3月17日（火）
 - ⑫ 4月21日（金） ※書面審議
 - ⑬ 5月19日（金）
 - ★ 6月9日（金） 総会/理事会